

科目名	農業基礎概論		科目番号	基-1
担当教員	学務・農場担当、コース担当	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業技術の習得や講義の理解に必要な事項、用語などについて、重要な基礎知識を修得する。			
授業概要	①農業を学ぶ上で必要な基本的な事項について学ぶ。 ②日本および香川県の農業の現状と課題、農業の基本技術や専門用語など、基礎的事項を幅広く学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	はじめに		
	第2時限	植物の性質と栽培のきほん		
	第3時限	農業の源＝植物の光合成		
	第4時限	栽培技術と管理のきほん		
	第5時限	土・肥料の役割と土壌管理		
	第6時限	病虫害防除のきほん		
	第7時限	農業による地域活性化		
	第8時限	農業経営の基本事項		
	第9時限	野菜についての基本事項		
	第10時限	野菜についての基本事項		
	第11時限	花きについての基本事項		
	第12時限	花きについての基本事項		
	第13時限	果樹についての基本事項		
	第14時限	果樹についての基本事項		
	第15時限	農業に必要な計算問題		
	第16時限	テスト ②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	図解でよくわかる農業のきほん(誠文堂新光社、堀江武) 最新版図解知識ゼロからの現代農業入門(家の光協会、八木宏典) 改訂日本農業技術検定3級テキスト(全国農業高等学校長会)ほか			
成績評価法	試験、レポート、出席状況、授業態度により評価する			
その他	テスト等、評定の総括は副校長			

科目名		作物学		科目番号	基-2
担当教員		三木哲弘、河原望遥		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	7~8月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		作物の植物学的特性や栽培技術の基礎知識・応用能力を養う。			
授業概要		水稲及び麦類の品種、生理生態、栽培管理など基礎的事項について幅広く講義する。			
授 業 計 画	第1時限	水稲の品種と生理生態			
	第2時限				
	第3時限	水稲の栽培管理			
	第4時限				
	第5時限	麦類の品種と生理生態			
	第6時限				
	第7時限	麦類の栽培管理			
	第8時限				
テキスト、参考書		作物講義資料を配布する。			
成績評価法		試験の成績により評価する。			
その他					

科目名	畜産概論		科目番号	基-3
担当教員	齊藤武司	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	畜産以外の他コースの学生に対して畜産の基礎知識を理解させる。同時に畜産コースの学生に対しては、畜産分野の各科目を概論的に学ばせ、畜産コース各科目の講義内容に反映させることで、より理解を高めることを目標とする。			
授業概要	乳用牛や肉用牛、養豚や養鶏を通して、日本および香川県の畜産の現状と課題、畜産の基本技術や専門用語などの基礎的事項を幅広く講義する。			
授業計画	第1時限	日本畜産の特徴と動向、香川県畜産の現状		
	第2時限	人間生活と畜産物の役目、家畜の疾病		
	第3時限	牛の特徴と品種、乳牛と肉牛のライフサイクル		
	第4時限	豚の特徴と品種、豚のライフサイクル		
	第5時限	鶏の特徴と品種、採卵鶏・肉用鶏のライフサイクル		
	第6時限	家畜ふん尿処理と有効利用、香川県家畜ふん堆肥の現状		
	第7時限	耕畜連携と飼料イネの活用、アニマルウェルフェア等		
	第8時限	テスト		
テキスト、参考書	香川の畜産、畜産関係資料(プリント)等			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名		遺伝子資源活用概論		科目番号	基-4
担当教員		植田早紀、多田祐真、中村智哉、山下泰生		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	1~2月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		生物工学の農業、特に園芸における役割、技術的内容等についての理解を深める。			
授業概要		生物工学の背景となる知識・技術、生物工学の農業分野(特に園芸分野)への応用などについて講義する。			
授 業 計 画	第1時限	生物工学(バイオテクノロジー)概論(テスト含む)			
	第2時限				
	第3時限	作物における研究概論(テスト含む)			
	第4時限				
	第5時限	野菜・花きにおける研究概論(テスト含む)			
	第6時限				
	第7時限	果樹における研究概論(テスト含む)			
	第8時限				
⑨1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		[農学基礎セミナー]植物バイオテックの実際(農文協、大澤勝次ほか)、補足資料を適宜配布する			
成績評価法		試験の成績に出席状況や受講態度を加味し評価			
その他					

科目名	林業・造園概論		科目番号	基-5
担当教員	表崎 晃	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林整備や造園の意義など、林業及び造園の概要について学習する。			
授業概要	森林整備や造園の役割について知識を深めるとともに、県内の森林・林業の現状や庭園・公園などについて紹介する。			
授 業 計 画	第1時限	①樹木について(樹木の識別と分類) ②森林整備の必要性について		
	第2時限	③造園の役割、樹木の手入れについて ④古庭園の管理について(栗林公園)		
	第3時限	⑤森林病虫害対策について(松枯れ、ナラ枯れ) ⑥竹林管理について		
	第4時限	⑦森林機能保全と治山工事について(溪間工、山腹工)		
	第5時限	⑧特用林産について(原木シイタケ栽培、木炭の製造) ⑨木材利用について		
	第6時限	⑩森林測量について(コンパス測量、レベル測量、ポール横断)		
	第7時限	⑪森林調査について(標準地調査、間伐率の算出、選木)		
	第8時限	⑫高性能林業機械について ⑬スマート林業について		
テキスト、参考書	担当職員が準備する資料を随時配付する。			
成績評価法	出席及び受講態度、レポート提出等で評価する。			
その他				

科目名	植物防疫		科目番号	基-6
担当教員	西村文宏、松本匠哉、片山貴博		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	5月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	病害虫の発生要因の理解、病害虫の種類及びその発生生態とともに防除技術を学び、植物防疫の総合的な知識を習得する。また、農薬についての基本的な知識を習得する。			
授業概要	病害虫の生態等を種類ごとに紹介し、その見分け方と防除法を解説する。農薬の安全で効果的な使用方法について、栽培と関連づけながら防除体系作成法等を紹介する。			
授業計画	第1時限	病害虫概要		
	第2時限	農薬の種類とその作用・安全で効率的な使用方法		
	第3時限	害虫の種類と形態および昆虫の生理		
	第4時限	様々な害虫防除		
	第5時限	病原の種類と性質(細菌、糸状菌、ウイルス)		
	第6時限	病気の診断、抵抗性、防除方法		
	第7時限	病気の被害予測		
	第8時限	テスト		
⑨1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	テスト			
その他				

科目名	雑草学	科目番号	基-7
担当教員	山下泰生、吉田有梨花、村上裕一	科目区分	一般教養科目
対象学年、コース	1学年	開講時期	7~8月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	雑草に関する知識を深め、雑草管理、雑草防除技術を身につけることを目標にする。		
授業概要	各作物に関する雑草の種類やその特徴、防除技術など幅広く講義する。		
授 業 計 画	<p>第1時限 吉田:雑草学概論</p> <p>第2時限 吉田:麦作における雑草管理(+小テスト)</p> <p>第3時限 吉田:水稲作における雑草管理</p> <p>第4時限 吉田:水稲作における雑草管理(+小テスト)</p> <p>第5時限 村上:野菜栽培における雑草管理</p> <p>第6時限 村上:野菜栽培における雑草管理(+小テスト)</p> <p>第7時限 山下:果樹園地における雑草管理</p> <p>第8時限 山下:果樹園地における雑草管理(+小テスト)</p> <p style="text-align: right;">②1回に2時限分を実施する</p>		
テキスト、参考書	特になし。		
成績評価法	小テストを4回行い、100点満点で評価(各25点満点)		
その他			

科目名	土壌肥料		科目番号	基-8
担当教員	阿部政人、島田敦之		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	1学年		開講時期	5～7月
単位数	2		必須・選択の別	必須
授業目標	農作物の生育に必要な養分や水分を供給する土壌及びこれらを補完する肥料について、その基礎的な知識を学ぶ。			
授業概要	土壌の生成やその構成成分、作物と土壌の関係などの土壌学の基礎事項及び作物の栄養分とその吸収システム、肥料の種類や施肥技術などの肥料学の基礎事項を講義する。			
授業計画	第1時限	作物の必須元素		
	第2時限	作物の養分吸収		
	第3時限	肥料の分類とその種類		
	第4時限	各肥料の特徴と使用方法		
	第5時限	施肥の概念		
	第6時限	施肥技術と施肥設計		
	第7時限	施肥設計演習		
	第8時限	テスト		
	第9時限	土壌の生成と分類		
	第10時限	土壌の無機成分と有機成分		
	第11時限	微生物のはたらき(窒素循環と酸還元反応)		
	第12時限	養分を保持するはたらき		
	第13時限	土の酸性と中和		
	第14時限	作物の吸収する養分		
	第15時限	復習など		
	第16時限	テスト		
⑨1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	土づくりと作物生産(日本土壌協会)			
成績評価法				
その他				

科目名	有機農業		科目番号	基-9
担当教員	平木 孝典	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	環境保全や消費者ニーズの高まりなどに対応した有機農業(特別栽培を含む。)の基礎知識を習得する。			
授業概要	有機農業等に取り組むに当たって必要となる知識及び有機農産物等の生産流通の現状並びに有機JAS取得手続きについて講義する。			
授業計画	第1時限	有機農業の現状〔有機農業とは、現状、課題〕		
	第2時限	有機農産物の規格〔JAS規格の概要、認定手続き〕		
	第3時限	土づくりの意義〔土づくりの考え方、方法〕		
	第4時限	土づくりの実際〔土づくりの資材、土壌診断〕		
	第5時限	有機農業の基本技術〔病虫害、雑草防除法〕		
	第6時限	本県の有機農業の現状〔県内の取組み者紹介〕		
	第7時限	有機農業による栽培事例・制度紹介		
	第8時限	テスト		
⑨1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	主に試験の成績で評価			
その他				

科目名		農業気象と環境		科目番号	基-10
担当教員		植山秀紀(西日本農業研究センター)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	11~12月	
単位数		1	必須・選択の別	必須	
授業目標		一般気象学の基本知識、作物と気象のかかわりについて理解させる。			
授業概要		グローバルから農地規模までの気象学の基礎、気象測定法、気象と作物生産の関係、昨今の農業気象問題について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	農業気象研究の立場から			
	第2時限	気象学基礎			
	第3時限	気象要素と測器			
	第4時限	農地の微気象と作物生産(1)			
	第5時限	農地の微気象と作物生産(2)			
	第6時限	異常気象と農業気象災害			
	第7時限	施設の環境調節			
	第8時限	テスト			
⑨1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		主に試験の成績により評価する			
その他					

科目名	農業機械		科目番号	基-11
担当教員	田中 利幸	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業機械を安全かつ効率的に利用するための知識を習得する。			
授業概要	農業機械の全般的な知識を習得するための講義。			
授 業 計 画	第1時限	農業機械の利用と現状		
	第2時限	農業機械の安全作業、小テスト		
	第3時限	トラクターの構造		
	第4時限	トラクターの点検・整備、小テスト		
	第5時限	内燃機関の構造		
	第6時限	内燃機関の点検・整備、小テスト		
	第7時限	燃料と潤滑油、伝動装置、電動機		
	第8時限	テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	新版 農業機械の構造と利用(農文協、藍房和)			
成績評価法	テスト、受講態度			
その他				

科目名		農畜産物流通	科目番号	基-12
担当教員		農業生産流通課、畜産課	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年	開講時期	10～11月
単位数		1	必須・選択の別	必須
授業目標		農畜産物の需給事情、流通形態、マーケティングなど、流通に係る基礎知識を習得する。		
授業概要		農畜産物の市場流通の歴史や役割、流通の多様化と商品づくりなど、流通形態、マーケティングなど流通に係る基礎知識を講義する。		
授業計画	第1時限	米の消費、生産、需給に関する動向		
	第2時限	麦の消費、生産、需給に関する動向、テスト		
	第3時限	農産物の市場流通の歴史と役割		
	第4時限	農産物流通の多様化と売れる商品づくり、テスト		
	第5時限	家畜・家きんのライフサイクル 香川県の畜産の概況とブランド畜産物		
	第6時限	畜産物流通のしくみ 牛乳、牛肉の流通		
	第7時限	豚肉、鶏肉、鶏卵の流通 牛肉トレサビリティ制度		
	第8時限	テスト		
⑨1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法		テスト		
その他				

科目名	農福連携		科目番号	基-13
担当教員	農政局、障害福祉課、農業生産流通課他	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月・8月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく農福連携の取組みについて理解をするとともに推進にあたっての課題等について理解を深める。			
授業概要	農福連携の推進や取組みについての現状と課題について、国、県、地域段階における講義及び取組み農業者への現地研修を実施する。			
授業計画	第1時限	全国段階における農福連携の推進方針と取組みについて 中国四国農政局農村振興部都市農村交流課農福連携推進係長 原野卓郎氏 再犯防止を視野に入れた農福連携の広がり 法務省 高松矯正管区 更生支援企画課長 廣田将和氏		
	第2時限	香川県における農福連携の取組みについて 農業生産流通課 小河原副主幹 障害福祉課 出田主任主事		
	第3時限	香川県における農福連携の現状と課題 NPO法人香川県社会就労センター協議会コーディネーター 阿部隆弘氏		
	第4時限	農福連携の働きがいと作業支援の工夫(ポイント) 社会福祉法人ラーフ 障害福祉サービス事業所やまもも 石川浩氏		
	第5時限	農福連携実践農業法人(共同受注)への現地視察		
	第6時限	坂出市大屋富町 三宅農園		
	第7時限	農福連携実践農業法人(直接雇用)への現地視察		
	第8時限	観音寺市豊浜町 株式会社URAfarm		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	授業ごとに資料を配付するとともにパワーポイント等の資料を活用して説明			
成績評価法	授業ごとの小テスト及びレポート、受講態度で評価する			
その他	農業行政Ⅱとの選択科目			

科目名		農業行政 I	科目番号	基-14
担当教員		足立 泰史ほか(農政局香川県拠点)	科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年	開講時期	7月
単位数		1	必須・選択の別	選択
授業目標				
授業概要		食料・農業・農村をめぐる情勢、農林水産省の主要な施策・制度、食の安全・安心、食品表示の基礎的な知識を講義する。		
授 業 計 画	第1時限	食料・農業・農村をめぐる課題と施策(食料・農業・農村基本法の検証・見直し)		
	第2時限	統計データでみる中国四国の農業の現状について		
	第3時限	農業経営(新規就農、経営所得安定対策、収入保険、輸出等)について		
	第4時限	農村振興施策の概要について		
	第5時限	みどりの食料システム戦略について		
	第6時限	香川県で有機農業を広げるために必要なこと(グループ討議)		
	第7時限	食の安全と消費者の信頼確保について		
	第8時限	効果測定		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	授業ごとに資料を配付するとともにパワーポイント等の資料を活用して説明			
成績評価法	効果測定と出席で評価する			
その他	農福連携と選択			

科目名	農業行政Ⅱ		科目番号	基-15
担当教員	農政課、農業経営課	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	5～6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	認定農業者制度等、農業関係行政機関が推進している施策政策について学習し、経営感覚に優れた担い手の育成につなげる。			
授業概要	農業経営基盤強化法の概要、認定農業者や集落営農、新規就農者などの本県における実態や県の施策などについて講義する。			
授 業 計 画	第1時限	香川県農業の現状		
	第2時限	6次産業化・地産地消の取り組み		
	第3時限	集落営農の推進		
	第4時限	普及センターの役割と活動、農業試験場の研究活動		
	第5時限	農薬適正使用、GAP		
	第6時限	環境保全型農業、農地制度		
	第7時限	認定農業者制度と担い手育成支援		
	第8時限	新規就農促進、青年農業者活動支援、テスト		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法	試験成績による			
その他				

科目名		加工食品と食生活		科目番号	基-16
担当教員		小川雅廣(香川大学農学部教授)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		2学年	開講時期	6~7月	
単位数		1	必須・選択の別	選択	
授業目標		現代の加工食品における課題を認識できるようにするとともに、消費者はこれからのような特徴をもった食品を求めていくのか、食品の製造者はどのような発想で食品を開発していくべきなのかなど、今後の対応策を科学的な根拠をもとに考える力を身につけることを目標とする。			
授業概要		食をめぐる現状と課題、食品加工の意義と目的、変化、変質、保存方法、食品の開発、さらに、最近増えている機能性表示食品に関連する事項も含め幅広く講義する。			
授業計画	第1時限	食をめぐる現状と課題、食品加工の意義と目的			
	第2時限				
	第3時限	栄養とカロリーの関係、おいしさの追求			
	第4時限				
	第5時限	加工の重要性と食品添加物の使用			
	第6時限				
	第7時限	特定保健用食品と機能性表示食品、試験			
	第8時限				
⑨1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		資料を配付			
成績評価法		各授業日にミニレポートを提出してもらいます。成績は3回のミニレポート(30%)と試験(70%)で評価する。			
その他		「農業土木と水利」との選択			

科目名	農業土木と水利		科目番号	基-17
担当教員	土地改良課	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	6～7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	農業を行う上で、必要となる農業用排水路やため池、農道などの「農業生産基盤」について、その役割や重要性、また本県の特徴について理解する。			
授業概要	降雨の少ない本県においては、用水開発の歴史は本県農業発達の歴史であるといわれるように本県農業と農業水利は密接な関係があり、農業と農業土木の関係を通して、整備内容やその効果、多面的機能、歴史等について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	香川県の農業の概要		
	第2時限	農業土木の概要		
	第3時限	農業農村整備事業の変遷		
	第4時限	ほ場、農業用排水、農道、ため池等整備		
	第5時限	香川の水		
	第6時限	さぬきのため池、香川用水		
	第7時限	農業水利		
	第8時限	テスト		
⑨1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	関係資料、パンフレットを使用			
成績評価法	試験成績による			
その他				

科目名	マーケティング論		科目番号	基-18
担当教員	日笠倫周(高松大学経営学部)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4月～6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	マーケティングの基礎的な概念や理論枠組みを理解し、それらの知識を活用できるようになることを目的とする。			
授業概要	1. マーケティングの原理・原則を学ぶ。 2. 顧客目線の仕組みづくりを学ぶ。 3. 事例からマーケティングの活用方法を学ぶ。			
授業計画	第1時限	1. マーケティングの歴史, 2. マーケティングの考え方		
	第2時限			
	第3時限	1. マーケティング・マネジメント, 2. マーケティング戦略の策定		
	第4時限			
	第5時限	マーケティング戦術の策定と実施・管理Ⅰ(製品、価格)		
	第6時限			
	第7時限	マーケティング戦術の策定と実施・管理Ⅱ(プロモーション、流通)		
	第8時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	講義ではPPTの資料を配布する。			
成績評価法	出席状況、授業態度、グループへの貢献度、発表、小テスト等を総合的に評価			
その他				

科目名	マーケティング演習		科目番号	基-19
担当教員	日笠倫周	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	6~7月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	特定のテーマに関する情報収集、分析、まとめ、プレゼンテーションといった一連の流れを体験し、消費者目線でのマーケティング手法を修得する。			
授業概要	<p>①農業・食品ビジネスの現状分析 様々な農業ビジネスや食品ビジネスを比較・検討することにより、農業ビジネスの現状を理解する。</p> <p>②マーケティング戦略の立案演習 マーケティング戦略の企画・提案を行う。 ケースを通し、実際に商品を販売する時に必要な考え方を体験する。</p> <p>③消費者特性とマーケティング 消費者の特性を活かしたマーケティングについて、代表的な手法を知り、体験する。 また、消費者特性を活かしたマーケティング戦略を立案し、その企画・提案を行う。</p>			
授 業 計 画	第1時限	コースガイダンス(概要、演習の進め方など)		
	第2時限	農業・食品ビジネスの現状分析、マーケティング戦略の立案演習Ⅰ(STP)		
	第3時限	マーケティング戦略の立案演習Ⅱ(製品、価格)		
	第4時限			
	第5時限	マーケティング戦略の立案演習Ⅲ(プロモーション、流通)		
	第6時限			
	第7時限	消費者特性とマーケティング		
	第8時限			
	②1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	講義ではPPTの資料を配布する。			
成績評価法	出席状況、授業態度、グループへの貢献度、発表、小テスト等を総合的に評価			
その他				

科目名	農業経営		科目番号	基-20
担当教員	佐溝尚子	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	1~2月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	社会環境に対応した次世代の農業ビジネスの基本的な方向とそれを担う経営者の役割、機能について認識させる。			
授業概要	農業経営を構成する要素と変化する社会環境、それに対応するための経営運営、マーケティング等を進めるうえで農業経営者として備えるべき能力について、現地事例などに基づいて講義をする。			
授 業 計 画	第1時限	日本農業の現状		
	第2時限	農業の経営形態と経営目標		
	第3時限	農業経営の運営と合理化		
	第4時限	農業経営の診断		
	第5時限	農業経営をとりまく環境		
	第6時限	農業のマーケティング		
	第7時限	農業経営の設計		
	第8時限	農業経営を支える農業施策		
	第9時限	農業経営の実際		
	第10時限	農業経営事例紹介		
	第11時限	経営者の実際		
	第12時限	経営事例紹介		
	第13時限	経営概論、経営戦略		
	第14時限	経営概論、経営戦略		
	第15時限	経営シミュレーション		
	第16時限	レポート		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	農業経営概論(実教出版、大泉一貫ほか)			
成績評価法	出席評価(40%)、中間テスト評価(40%)、最終レポート(20%)			
その他				

科目名		農業簿記※		科目番号	基-21
担当教員		山下将吾、棚田光亮(税理士)、原ゆきこ(同)		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	10~11月
単位数		2		必須・選択の別	必須
授業目標		農業簿記の基礎を理解する。			
授業概要		仕訳を理解し、農家の日常の取引に基づいて、簡単な記帳及び決算書が作成できるようになるように講義をし、農業簿記の練習問題と解説を行う。			
授 業 計 画	第1時限	農業簿記の概要			
	第2時限				
	第3時限	勘定科目			
	第4時限	現金預金、売掛金、その他資産、その他負債			
	第5時限				
	第6時限	減価償却資産、固定資産			
	第7時限	決算整理			
	第8時限	貸倒引当金、減価償却直接法・間接法 前払金、前受金、未収金、未払金			
	第9時限				
	第10時限	決算書の作成			
	第11時限				
	第12時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題①			
	第13時限				
	第14時限	農業簿記の基礎知識、記帳方法の復習・練習問題②			
	第15時限				
	第16時限	まとめ テスト			
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		農業簿記検定教科書3級(大原出版) 農業簿記検定過去問題集(日本ビジネス技能検定協会)			
成績評価法		試験100%			
その他					

科目名	労務管理※	科目番号	基-22
担当教員	白川博章(社会保険労務士)	科目区分	一般教養科目
対象学年、コース	2学年	開講時期	7月
単位数	1	必須・選択の別	必須
授業目標	農業経営者として必要な労務管理に関する法律や実務等の基本的知識を身につける。併せて法令に基づく健康管理や労災補償制度についても学ぶ。		
授業概要	人事・労務管理の具体的内容を概略するとともに、一般的な企業と農業における人事・労務管理について、それぞれの実態と特徴を明らかにする。 さらに「働き方改革関連法」等の近時の法改正が労務管理へ与える影響とその対応について考える。		
授 業 計 画	第1時限	労働法(労働基準法、労働契約法)の総論	
	第2時限	働き方改革関連法等、近時の労働者を取り巻く労働環境について	
	第3時限	労働時間管理と休日について	
	第4時限	年次有給休暇とその他の休暇について	
	第5時限	賃金管理について	
	第6時限	割増賃金の制度について	
	第7時限	労働契約、就業規則と個別労働紛争について	
	第8時限	社会保険、労働保険、その他法律について	
		②1回に2時限分を実施する	
テキスト、参考書	・労働関係法の要点、労働保険の事務手続き、社会保険ガイド		
成績評価法	出席状況、各時限後の小テスト及び全授業終了後の課題等により判定する。		
その他			

科目名	就農就業ガイダンス I ※		科目番号	基-23
担当教員	先進農家ほか	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや就職活動を行ううえでの留意点学ぶ。			
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。			
授 業 計 画	共通			
	第1時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第2時限			
	第3時限	先進農業者に聞く		
	第4時限			
	第5時限	ようこそ先輩		
	第6時限			
	第7時限	関連企業・異業種研究		
	第8時限			
	第9時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第10時限			
	第11時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第12時限			
	第13時限			
	第14時限	インターンシップ		
	第15時限			
	第16時限			
②1回に2時限または4時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	出席、受講態度、レポート			
その他				

科目名	就農就業ガイダンスⅡ※		科目番号	基-24
担当教員	先進農家ほか	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	通年	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	先進農家等の経験を自らの将来に生かす。 雇用就農や将来自立経営するにあたっての心構えや社会人として必要なマナーなどを学ぶ。			
授業概要	講話と質疑、グループワーク等による。			
授 業 計 画	共通			
	第1時限	就職活動の基本(履歴書、エントリーシートの書き方)		
	第2時限			
	第3時限	先進農業者に聞く		
	第4時限			
	第5時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第6時限			
	第7時限	新規就農者の支援団体の概要と活動内容		
	第8時限			
	第9時限	農業法人、農業関連企業等による会社説明会		
	第10時限			
	④1回に2時限または4時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	出席、受講態度、レポート			
その他				

科目名		国際農業論		科目番号	基-25
担当教員		JICA海外協力隊経験者、佐々木省三(元県職員)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	7~8月	
単位数		1	必須・選択の別	必須	
授業目標		海外の農業の動向と農業政策の特質について理解を深める。			
授業概要		農業の国際的な現状を学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	国際協力のありかた			
	第2時限				
	第3時限	開発途上国の農業事情			
	第4時限				
	第5時限	農業の成立と環境、農業が醸成する地域文化 自然・社会環境の変化と世界の食料需給事情、各論、中国の農業事情			
	第6時限				
	第7時限	東南アジア特にタイとラオスの農業事情・テスト			
	第8時限				
⑨1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		テストと授業態度に加え、講師によってレポートまたはテスト			
その他					

科目名	農業協同組合※		科目番号	基-26
担当教員	香川県農業協同組合職員	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	JA組織の概要を理解する。			
授業概要	JAのあらまし・あゆみ、JAの組織・運営、JA事業と活動についてテキストを使って講義をして、必要に応じてビデオ視聴により理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	・JA香川県について・協同理念について	人事部部長	
	第2時限	・アグリワークについて ・JA香川県就農奨学金について	営農部営農振興課	
	第3時限	JA香川県の園芸振興について	営農部園芸指導課	
	第4時限	JA香川県の営農事業(さぬきの米・かがわの麦)	営農部農産指導課	
	第5時限	JAのあらまし、JAの生い立ちと歩み	人事部人事課	
	第6時限	JAの組織・運営、事業と活動	人事部人事課	
	第7時限	総まとめ	人事部人事課	
	第8時限	試験	人事部人事課	
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書	私たちとJA			
成績評価法	①試験実施 ②受講態度			
その他				

科目名	農業法人と営農組織		科目番号	基-27
担当教員	近藤 弥(農業会議)、太田健司(同)	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	5~6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	農業・農村の現状と課題、今後の展開方向について学ぶとともに、その中での集落営農組織等の現状生産組織や農業法人(一戸一法人を含む)のあり方について習得する。			
授業概要	全国及び香川県における、土地(農地)と担い手(集落営農を含む)の現状や課題を明らかにし、それらの諸課題に対応するための集落営農組織や農業法人の内容、県下における活動事例を基に、今後の地域農業の維持、発展方向を講義する。また、あわせて食料・農業・農村基本法、農地法、農業経営基盤強化法等による土地と担い手に関する諸政策を講義する。			
授業計画	第1時限	農業・農村の現状と課題、食料・農業・農村農業基本法および基本計画		
	第2時限	農地法、農業経営基盤強化法のあらまし		
	第3時限	集落営農組織とその組織化		
	第4時限	県下の集落営農組織		
	第5時限	農業法人のあらまし		
	第6時限	農業法人の設立・運営		
	第7時限	県下の農業法人の活動事例		
	第8時限	テスト		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	農地法、農地関連法制度、農業法人化マニュアル(全農図書)			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	スマート農業		科目番号	基-28
担当教員	山下将吾、伊藤博紀、香西修志、 福田哲生、三木 洋、二宮 浩		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	2学年		開講時期	4～5月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	農業の抱える諸問題を解決する手法として脚光を浴びているスマート農業について、その意義や現状、今後の展望等を学ぶ。			
授業概要	①スマート農業技術の技術が開発が進められている背景を知る。 ②ICT技術やAI、ロボット技術など先端技術を、生産管理から販売管理の行程でどのように活用されているのか、主要な技術と今後の展望について知る。			
授 業 計 画	第1時限	スマート農業とは		
	第2時限	園芸作物とスマート農業①		
	第3時限	園芸作物とスマート農業②		
	第4時限	園芸作物とスマート農業③		
	第5時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)①		
	第6時限	畜産とスマート農業(畜産分野に導入された先端技術)②		
	第7時限	水田作物とスマート農業		
	第8時限	テスト		
	③1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書	関連資料、パンフレット等			
成績評価法	テスト、レポート			
その他				

科目名	農業基礎演習		科目番号	基-29
担当教員	田中利幸、高橋秀彰	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	通年	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	主要農業機械の構造、操作方法を習得する。			
授業概要	主に使用する農業機械の構造と操作方法を理解、習得するため演習する。			
授業計画	第1時限	トラクターの構造と安全操作演習(MT、AT車)		
	第2時限	トラクターの基本的な操作と走行演習(MT、AT車)		
	第3時限	運搬車及び管理機等の操作と走行演習		
	第4時限			
	第5時限	刈払い機の構造と安全操作演習		
	第6時限	刈払い機の基本的な操作と作業演習		
	第7時限	農業用ドローンの構造と情勢に関する講義(クボタ)		
	第8時限	農業用ドローンの安全操作演習(クボタ)		
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書				
成績評価法	受講態度・操作能力			
その他	2班に編成して農場実習の時間に実施し、内容や順序は変わることがある			

科目名	農業基礎実験		科目番号	基-30
担当教員	渡辺二郎・阿部政人・津田遼平	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	1学年	開講時期	4～8月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	土壌の理化学性を理解させることにより、農業の基本となる土について理解を深めさせる。 また、植物の生体反応等の実験を通じて、農学・農業に対する興味を深める。			
授業概要	土壌の理化学性について、測定方法等を実習する。また、農学全般に係る基本的な生物実験を行う。			
授 業 計 画	第1時限	土壌サンプリングと試料調製について(農大野菜ほ場)		
	第2時限			
	第3時限	試料調製とpH、EC測定		
	第4時限			
	第5時限	土壌中の有効態リン酸の抽出		
	第6時限			
	第7時限	土壌中有効態リン酸の測定		
	第8時限			
	第9時限	土壌微生物の培養		
	第10時限			
	第11時限	微生物の観察と薬剤の効果検討		
	第12時限			
	第13時限	土壌診断に係る分析機器の使用方法(東讃普及センター)		
	第14時限			
	第15時限	土壌肥料実験に関するまとめ		
	第16時限			
		②1回に2時限分を実施する		
テキスト、参考書	なし			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他	参考書:土壌診断なるほどガイド(農業革新支援センターで用意)			

科目名	パソコン簿記演習		科目番号	基-31
担当教員	山下将吾	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース	2学年	開講時期	4～7月	
単位数	1	必須・選択の別	選択	
授業目標	パソコンによる記帳方法や決算書作成方法、経営分析方法等を学ぶ。			
授業概要	パソコン会計のメリットは、入力データが元帳や試算表などに自動転記され、決算・申告までスムーズに行なえること。農業分野で長年の実績のある会計ソフト「農業簿記9」を使い、農業会計業務の理解を深める。			
授 業 計 画	第1時限	パソコン簿記の概要①		
	第2時限	パソコン簿記の概要②		
	第3時限	初期設定①		
	第4時限	初期設定②		
	第5時限	出納帳入力①		
	第6時限	出納帳入力②		
	第7時限	出納帳入力③		
	第8時限	出納帳入力④		
	第9時限	出納帳入力⑤		
	第10時限	出納帳入力⑥		
	第11時限	決算書の作成①		
	第12時限	決算書の作成②		
	第13時限	決算書の作成③		
	第14時限	決算書の作成④		
	第15時限	経営分析①		
	第16時限	経営分析②		
	⑨1回に2時限分を実施する			
テキスト、参考書				
成績評価法	主に演習時の提出物により評価する。			
その他	パソコン簿記演習、生物工学実験、農業機械整備演習から1科目選択			

科目名		農業機械整備演習※		科目番号	基-32
担当教員		(株)中四国クボタ、田中利幸		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	4～7月
単位数		1		必須・選択の別	選択
授業目標		農業機械の点検・整備、修理及びエンジンの構造と整備方法を習得する。			
授業概要		教材を用いた実習を主体			
授 業 計 画	第1時限	トラクターの点検・整備、修理演習①			
	第2時限				
	第3時限	エンジンの構造と点検整備(クボタ)			
	第4時限				
	第5時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習①(クボタ)			
	第6時限				
	第7時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習②(クボタ)			
	第8時限				
	第9時限	ディーゼルエンジンの分解・組立て演習③(クボタ)			
	第10時限				
	第11時限	トラクターの点検・整備、修理演習②			
	第12時限				
	第13時限	管理機、運搬車、刈払い機の点検・整備、修理演習			
	第14時限				
	第15時限	ガソリンエンジンの分解・組立て演習			
	第16時限				
②1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書		ディーゼルエンジン整備マニュアル(中四国クボタ教育指導用資料)			
成績評価法		受講態度			
その他		パソコン簿記演習、生物工学実験、農業機械整備演習から1科目選択			

科目名	生物工学実験		科目番号	基-33
担当教員	村口 浩・植田早紀		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース	2学年		開講時期	4～7月
単位数	1		必須・選択の別	選択
授業目標	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授業概要	生物工学の一手法である植物組織培養および遺伝子診断について、培地作成、無菌操作、生長点培養、DNA抽出などの基礎技術を実験を通じて習得する。			
授 業 計 画	第1時限	オリエンテーション(演習実施方法等)		
	第2時限	実験室清掃、培地作成準備		
	第3時限	培地作成、メス作成		
	第4時限			
	第5時限	クリーンベンチの使い方、培養練習(アスパラガス無菌播種)		
	第6時限	顕微鏡観察練習(花粉管観察)、メス作成		
	第7時限	培養練習(キク継代)		
	第8時限	メス作成		
	第9時限	培養物生育調査、生長点摘出練習(カーネーション)		
	第10時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第11時限	茎頂培養(カーネーション)		
	第12時限	電気泳動用ゲル作製、アスパラガスDNA抽出		
	第13時限	農試見学、アスパラガス雌雄の遺伝子判別		
	第14時限			
	第15時限	鉢上げ、順化(キク、アスパラガス等)、試験管等洗浄、片付け		
	第16時限			
②1回に2時限分を実施する				
テキスト、参考書				
成績評価法	毎回レポートを提出し、評価点の参考とする			
その他	8時50分までに白衣を着用して授業が受けられる態勢にしておくこと 演習の最後に全員で清掃点検を行う パソコン簿記演習、生物工学実験、農業機械整備演習から1科目選択			

科目名		鳥獣害対策演習		科目番号	基-34
担当教員		矢木聖敏、嶋田真耶、みどり保全課ほか	科目区分	一般教養科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	1~2月	
単位数		1	必須・選択の別	必須	
授業目標		作物栽培に大きな被害を与える鳥獣害の現状、被害の特徴、対策について、現地事例や実技を通じて学ぶ。			
授業概要		①県下の鳥獣害の現状や被害防止対策について、現地事例を通じて学ぶ。 ②鳥獣害対策について、関連する法律や実技について学ぶ。 ③狩猟免許取得に向けての知識・技術を修得する。			
授 業 計 画	第1時限	鳥獣害の現状と被害対策について【講義】(経営課・専指)			
	第2時限				
	第3時限	鳥獣害対策に関連する法律と狩猟免許について【講義】(みどり保全課)			
	第4時限				
	第5時限	集落ぐるみの獣害対策【講義】(さぬき市豊田集落代表2名、東讃普及センター) ジビエ加工【演習】(畠田)			
	第6時限				
	第7時限	狩猟の魅力について【講義】(眞鍋和恵)			
	第8時限	テスト(経営課・専指)			
③1回に2時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		テスト、レポート、受講態度等により総合的に評価			
その他					

科目名		森林演習		科目番号	基-35
担当教員		近藤真弓、横山桂一郎、河野司		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	11月
単位数		1		必須・選択の別	必須
授業目標		森林や林業についての理解を深めるため、森林整備や木材利用などの知識及び体験を得る。			
授業概要		森林整備の実際を体験する。 標準地調査、間伐木の選定、竹林整備 等			
授 業 計 画	第1時限	森林管理実習1(標準値調査、間伐木の選定、森林構成樹種の調査)			
	第2時限	"			
	第3時限	"			
	第4時限	"			
	第5時限	森林管理実習2(竹林整備、林木育種施設見学)			
	第6時限	"			
	第7時限	"			
	第8時限	"			
⑨実習は1回に4時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		受講後の感想文や出席状況による			
その他					

科目名		農家実習※		科目番号	基-36
担当教員		先進農家	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1学年	開講時期	10～12月	
単位数		4	必須・選択の別	必須	
授業目標		県内農業の現状や農業経営等の実態を体験する。			
授業概要		農家実習実施要領による。			
授業計画	第1時限	実習			
	第2時限				
	第3時限				
	第4時限				
	第5時限				
	第6時限				
	第7時限				
	第8時限				
	第9時限				
	第10時限				
	第11時限				
	第12時限				
	第13時限				
	第14時限				
	第61時限	報告会	⑨実習は1回に4時限分を実施する		
第62時限					
テキスト、参考書					
成績評価法		農家実習報告書及び農家実習記録、レポート、報告会への参加態度による			
その他					

科目名		インターンシップ※		科目番号	基-37
担当教員		先進農家等	科目区分	基礎教育科目	
対象学年、コース		1、2学年	開講時期	通年	
単位数		1(各学年で1)	必須・選択の別	選択	
授業目標		いち早く職業体験することで、卒業後の就農率向上や農業法人、造園業等への就職促進を図る。			
授業概要		インターンシップ実施要領による。			
授業計画	第1時限 第2時限 第3時限 第4時限 第5時限 第6時限 第7時限 第8時限	実習			
⑨実習は1回に4時限分を実施する					
テキスト、参考書					
成績評価法		インターンシップ実施申請、実施計画、実施報告書による			
その他		長期休暇中に2日間(8時限)履修で1単位とする			

科目名		特別講義・学校行事		科目番号	基-38
担当教員		関係機関、農大教諭		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		1学年		開講時期	通年
単位数		1(2学年時と併せて2)		必須・選択の別	必須
授業目標		社会性、協調性を高める。			
授業概要		特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授業計画	第1時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、現地研修、スポーツ大会、中間報告会、防火訓練、ふれあい市、卒論発表会、卒業式			
	第2時限				
	第3時限				
	第4時限				
	第5時限				
	第6時限				
	第7時限				
	第8時限				
	第9時限				
	第10時限				
	第11時限				
	第12時限				
	第13時限				
	第14時限				
	第15時限				
	・				
第68時限					
テキスト、参考書					
成績評価法		出席と態度による			
その他					

科目名		特別講義・学校行事		科目番号	基-39
担当教員		関係機関、農大教諭		科目区分	基礎教育科目
対象学年、コース		2学年		開講時期	通年
単位数		1(1学年時と併せて2)		必須・選択の別	必須
授業目標		社会性、協調性を高める。			
授業概要		特別講義によって社会生活に必要な知識を得るとともに、学校行事を通じて社会活動を行う。			
授業計画	第1時限	入学式、オリエンテーション、学生自治会活動、クラブ活動、健康診断、環境整備、スポーツ大会、中間報告会、防火訓練、ふれあい市、現地研修、卒業式			
	第2時限				
	第3時限				
	第4時限				
	第5時限				
	第6時限				
	第7時限				
	第8時限				
	第9時限				
	第10時限				
	第11時限				
	第12時限				
	第13時限				
	第14時限				
	第15時限				
	・				
第58時限					
テキスト、参考書					
成績評価法		出席と態度による			
その他					